

セメダイン シューズドクターN ブラウン

整理番号: 2313

作成日: 2021/09/10

1. 化学品及び会社情報

製品情報

化学品の名称 : セメダイン シューズドクターN ブラウン
整理番号 : 2313

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名 : セメダイン株式会社
住所 : 茨城県古河市下大野2184
担当部門 : 品質保証部 化学物質管理グループ
電話番号 : 0280-92-4518
FAX番号 : 0280-92-1947
緊急連絡先 : 0280-92-4518
月曜日～金曜日、8時30分～16時50分 言語 : 日本語

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : ポリウレタン系一液形接着剤
使用上の制限 : 専門的な使用者に限定。

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

皮膚腐食性／刺激性 : 区分 2
呼吸器感作性 : 区分 1
皮膚感作性 : 区分 1

※記載のないものは“区分に該当しない”または“分類できない”

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H315 皮膚刺激。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H334 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。

注意書き

安全対策:

P261 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレートの吸入を避けること。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P280 保護手袋を着用すること。
P284 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

応急措置:

P302 + P352 皮膚に付着した場合 : 多量の水で洗うこと。

P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。

P342 + P311 呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

廃棄：

P501 内容物/容器は、承認された廃棄物処理設備で処分する。

追加ラベル

この混合物に含まれる、急性吸入毒性が未知である成分の割合： 6 %

GHS 分類に関係しない又は GHS で扱われない他の危険有害性

水と反応して分解し、二酸化炭素を発生する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名（別名）	CAS番号	含有量	官報公示整理番号
ウレタン樹脂	非公開	67%	化審法:既存
メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	101-68-8	2.3%	化審法:4-118
C9-11 イソパラフィン	非公開	21%	化審法:既存
非晶質シリカ	非公開	6.0%	化審法:既存

4. 応急措置

吸入した場合 : ばく露したとき、又は気分が悪いとき：新鮮な空気のある所へ移動する。
症状が現れる場合には直ちに医療機関で診察を受ける。

皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服と靴を脱ぐ。
直ちに石けんと多量の水で洗い流す。
症状が現れる場合には直ちに医療機関で診察を受ける。

眼に入った場合 : 多量の水で 15 分以上よく洗浄し、医師の診察を受けること。
洗浄中は眼を大きく開ける。
多量の水で十分に、まぶたの裏まですすぐ。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないこと。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
口を水ですすぐ。
患者を暖かく安静にしておく。
直ちに医師に診察／手当てを受けること。

応急措置をする者の保護に必要な任意事項 : 適切な保護具を着用すること。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 棒状水
霧状水
泡消火剤
粉末消火剤
二酸化炭素 (CO₂)

使ってはならない消火剤 : なし

火災時の特有の危険有害性 : 加熱ないし火災により有毒ガスが放出される。

有害燃焼生成物 : 窒素酸化物 (NO_x)
一酸化炭素
二酸化炭素 (CO₂)

特有の消火方法 : 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
消火活動は、可能な限り風上から行う。
容器、周囲の設備などに散水して冷却する。

消火を行う者の保護具及び予防措置 : 消火作業の際は、状況に応じた保護具（自給式呼吸器、防火服、防災面など）を必ず着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 項目 7 および 8 に記載した保護措置を参照する。
適切な保護具を着用すること。
汚染区域に標識を立て、許可のない人が近づかないようにする。
こぼれやもれが起きている場所から風上に避難させる。
人々を即時に安全な場所に避難させる。
有害性を知らせる。

環境に対する注意事項 : 漏出物を直接、河川や排水施設に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 火花を発生させない工具を使用すること。
少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収して密閉できる空容器に回収する。
大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。
中和剤を散布して中和し、土砂等に吸収させて除去した後、こぼれた場所を十分に水洗する。中和剤の例：水／炭酸ナトリウム／液体洗剤＝90-95／5-10／0.2-2（重量比）

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 設備対策を行い、保護具を着用する（「8. 暴露防止及び保護措置」参照）。
ミスト及び微粉固体が発生する場所では防塵機能付き有機ガス用防毒マスクを、蒸気が発生する場所では有機ガス用防毒マスクを着用する。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
通気の良い場所で使用すること。
熱、火花、炎から離しておく。
蒸気が発生しないようにする。

安全取扱注意事項 : 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
みだりに蒸気を発散させない。
蒸気を吸入しないこと。

接触回避 : 混触危険物質（項目 10 を参照）から離しておく。

衛生対策 : 取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件 : 国の規則に従って保管すること。
乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかりと閉めて保管する。
熱、火花、炎から離しておく。
保管場所の床は、床面に水が浸入／浸透しない構造とする。
保管場所は耐火構造とし、屋根を不燃材料で作り、天井を設けない。
保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
屋内貯蔵を原則とする。

混触禁止物質 : 項目 10 を参照。

安全な容器包装材料 : 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標（暴露形態）	管理濃度 / 許容濃度	出典
メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	101-68-8	OEL-M	0.05 mg/m ³	日本産業衛生学会（許容濃度）
	詳細情報：気道感作性物質 第1群：人間に対して明らかに感作性がある物質			
		TWA	0.005 ppm	ACGIH

設備対策 : 作業場所の近辺に洗眼器および安全シャワーを設けること。
密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用しなければ取扱ってはならない。

保護具

呼吸用保護具 : 防毒マスク（有機ガス用）

手の保護具 : 保護手袋

眼、顔面の保護具 : 安全ゴーグル
保護眼鏡
保護面

皮膚及び身体の保護具 : 保護服
安全帽
安全靴
保護前掛け

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体
形状 : ペースト
色 : 褐色
臭い : 溶剤臭
融点/凝固点 : データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲 : データなし
可燃性 : 爆発性のある粉じんと空気の混合物は形成されないと考えられる。

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発範囲の上限/可燃上限値 : データなし
爆発範囲の下限/可燃下限値 : データなし
引火点 : 47.9 °C
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
pH : データなし

粘度	
動粘性率	: データなし
溶解度	
水溶性	: データなし
溶媒に対する溶解性	: 可溶
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	
比重	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: NCO 基は水と反応して炭酸ガスを発生する。この反応が密閉容器内で起こると、容器が膨れ、場合によっては破裂することもある。 酸化剤と反応し、火災を起こすことがある。
避けるべき条件	: 湿気 高温
混触危険物質	: アミン、アルコール、水等の活性水素化合物、酸化剤、塩基等
危険有害な分解生成物	: 窒素酸化物 (NO _x)、一酸化炭素、二酸化炭素 (CO ₂)

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性（経口）： 区分に該当しない
急性毒性（吸入）： 分類できない
急性毒性（経皮）： 区分に該当しない

製品：

データなし

成分：

C9-11 イソパラフィン：

急性毒性（経口）： LD50: > 2,000 mg/kg

セメダイン シューズドクターN ブラウン

整理番号: 2313

作成日: 2021/09/10

メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート:

急性毒性（経口）：LD50（ラット）：31,600 mg/kg
急性毒性（吸入）：備考：この物質または混合物は、CLP の調和化された分類に従って区分4に分類されている。

皮膚腐食性／刺激性

区分2

製品:

データなし

成分:

C9-11 イソパラフィン:

種：ウサギ
結果：皮膚刺激性

メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート:

結果：皮膚刺激性

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

分類できない

製品:

データなし

成分:

C9-11 イソパラフィン:

種：ウサギ
結果：眼への刺激なし

メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート:

結果：眼に刺激性。

呼吸器感作性

区分1

製品:

データなし

成分:

メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート:

結果：吸入による感作発生の可能性。

皮膚感作性

区分1

製品:

データなし

成分:

メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート:

結果 : 皮膚に触れると感作を起すことがある。

生殖細胞変異原性

分類できない

発がん性

分類できない

生殖毒性

分類できない

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

分類できない

製品:

データなし

成分:

メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート:

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、単回ばく露、気道炎症を伴う区分3に分類される。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

分類できない

誤えん有害性

分類できない

製品:

データなし

成分:

C9-11 イソパラフィン:

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性） : 分類できない
水生環境有害性 長期（慢性） : 分類できない

製品:

データなし

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

分類できない

他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
認可された廃棄物処理施設で廃棄物を処理する。
廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去すること。
空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制

航空輸送 (IATA-DGR)

国際輸送に関する国連勧告の定義上は、危険物に該当しない。

海上輸送 (IMDG-Code)

国際輸送に関する国連勧告の定義上は、危険物に該当しない。

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送	消防法等の規定に従う。
海上輸送	規制なし。
航空輸送	規制なし。
輸送の特定の安全対策及び条件	： 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に 行う。 該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。 移送時にイエローカードを保持する。 火気注意

応急措置指針番号 : 171

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名又は一般名
メチレンビス（4， 1－フェニレン）＝ジイソシアネート

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名又は一般名
メチレンビス（4， 1－フェニレン）＝ジイソシアネート

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

引火性の物

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

第 1 種指定化学物質

化学名又は一般名	含有率（%）
メチレンビス（4， 1－フェニレン）＝ジイソシアネート	2.3

その他の適用される法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

消防法

指定可燃物，可燃性固体類，（3000 キログラム）

化審法

優先評価化学物質

化学名又は一般名
メチレンビス（4， 1－フェニレン）＝ジイソシアネート

16. その他の情報

詳細情報

引用文献 : 自社データ
日本産業規格(JIS) Z7252:2019
日本産業規格(JIS) Z7253:2019
その他文献調査等により得られた情報

免責条項

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。記載されている情報はいかなる保証もするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。